

尾道市立大学 大学院 2027

Onomichi City University Graduate Program

Economics, Management & Information Science

Japanese Literature

Art & Design

□教育課程の特色

経済情報研究科

● 教育理念・目的

経済情報研究科は、大きく分けて経済学・経営学・情報科学の3つの研究分野を持ち、学部教育を踏まえ、より高度な研究と教育を行うとともに国際的な視野のもと、経済学・経営学・情報科学の新しい発展並びに地域経済の要望を踏まえた教育と研究に取り組んでいます。更に、国際社会への貢献並びに教育・文化の国際交流の一層の促進のために優秀な留学生の受け入れを積極的に行います。

このような教育理念のもと経済情報研究科は、経済学・経営学・会計学・税務ほかの諸領域において活躍できる専門的職業人及び研究者、高度な情報科学の修得に基づき経済学・経営学・会計学・税務ほかの諸領域において活躍できる情報分野の専門的職業人及び研究者を養成することを目的としています。

● 入学者受入れの方針(アドミSSION・ポリシー)

経済情報研究科は、ディプロマ・ポリシーならびにカリキュラム・ポリシーにおいて具体化された教育理念・教育目標に基づき、以下のような人を求めています。

1. 学士課程教育において、専門的知識・技能と、日本語および外国語によるコミュニケーション能力とを高めることで、日本や世界の諸問題の解決に寄与する能力を身につけている人〔論文試験、面接試験(研究計画書を含む)、日本留学試験「日本語」〕
2. 学士課程教育において、経済・経営・情報の3分野に関する専門的知見を、人間・社会・自然に関する他分野の学問的知見と組み合わせることで、高度に情報化した現代経済社会の意味を探究する能力を身につけている人〔論文試験、面接試験(研究計画書を含む)〕
3. 学士課程教育において、経済・経営・情報の3分野に関する専門的知識およ

日本文学研究科

● 教育理念・目的

日本文学研究科では、日本の文学と言語文化を総合的に捉えつつ、日本文学・日本語学・漢文学の発展的研究に取り組むことで、日本語、日本文学、日本の芸術文化を深く理解します。このような教育理念のもと、社会活動や文化活動において指導的役割を果たし、社会の発展に寄与する人材を養成することを目的としています。

● 入学者受入れの方針(アドミSSION・ポリシー)

日本文学研究科の教育の理念・目的に基づいた、ディプロマ・ポリシーを満たし、そのためのカリキュラムに適應できる能力・適性をもった人として、日本文学研究科は以下のような人を求めています。

1. 大学の学士課程等において日本文学・日本語学・漢文学に関する基礎的な知識と研究方法を修得している人
2. 自分自身の研究テーマをもち、それを自らの力で探究していこうという意志のある人
3. 本研究科での高度な学びを通じて、社会や文化の進展に貢献していこうという意志のある人

入学後の学びに必要な能力や適性等

日本文学研究科の教育課程に適應するために必要な入学時の能力や適性等は以下の通りです。

(知識・技能)

1. 日本語学、日本文学(古典文学、近現代文学)、漢文学に関する基本的な知

美術研究科

● 教育理念・目的

美術研究科の教育理念は、個々人の資質を尊重し、それぞれの学生が表現者としての立脚点と方向性を模索しながら、研究科教員と学生とのコミュニケーションを軸に、自己表現へ向けた研究を展開させていくことです。このような教育理念のもと、美術における専門家として持続的な創作活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を輩出することを目的としています。

● 入学者受入れの方針(アドミSSION・ポリシー)

美術研究科は、研究科の教育理念・目的に基づき、以下のような人を求めています。

1. 専門分野の基礎的な知識や技術を修得し、様々な分野の考え方や理論を吸収した上で、それらを展開して自己表現に結びつけることができる。〔提出作品、実技試験、小論文〕
2. 自ら課題を発見し、その解決方法を模索した上で、研究テーマを明確に設定し、表現の可能性を持続的に探究できる。〔小論文、面接試験(研究計画書を含む)〕

び基礎的技能を修得し、それらを活用して現代の経済社会を多面的に理解し、家庭・企業・地域等で活躍する能力を身につけている人〔論文試験、面接試験(研究計画書を含む)〕

4.本研究科で学修することによって、官公庁や企業において経済・経営・情報分野の指導者、海外で活躍する国際公務員や公共団体・民間団体の国際交流担当職員、地域の活性化に貢献する地域社会の指導者、税理士や公認会計士、経済学・経営学・会計学・情報科学等の分野の研究者を目指す人〔論文試験、面接試験(研究計画書を含む)〕

[]内は対応する入学者選抜における評価を示します。

● 入学者選抜における評価項目

- 論文試験
- 面接試験(研究計画書を含む)



詳細はウェブサイトをご覧ください。

識と研究方法を修得し、周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、それらを活用することができる。〔一般における専門科目試験〕〔社会人および外国人留学生の小論文〕

(思考力・判断力・表現力)

2.自らの力でテキストの精読や実地調査を行い、論点を定めた分析や表現の探究に計画的に取り組むことができる。〔一般における面接試験(学修調書、卒業論文要旨等を含む)〕〔社会人および外国人留学生における小論文試験、面接試験(学修調書、卒業論文要旨等を含む)〕

(主体性)

3.豊かな人間性と幅広い視野を持ち、高度な言語運用能力を発揮して他者と議論や対話を行うことができる。〔一般における面接試験(学修調書、卒業論文要旨等を含む)〕〔社会人および外国人留学生における小論文試験、面接試験(学修調書、卒業論文要旨等を含む)〕・日本留学試験〔日本語〕

[]内は対応する入学者選抜における評価を示します。

● 入学者選抜における評価項目

- 出願区分:一般
- 専門科目試験
 - 面接試験(学修調書、卒業論文要旨等を含む)

出願区分:社会人および外国人留学生

- 小論文試験
- 面接試験(学修調書、卒業論文要旨等を含む)



詳細はウェブサイトをご覧ください。

3.研究成果を社会に向けて継続的に発信し、他者との関わりの中で自らの表現力や創造性を高めることができる。〔面接試験(研究計画書を含む)、日本留学試験〔日本語〕〕

[]内は対応する入学者選抜における評価を示します。

● 入学者選抜における評価項目

- 提出作品
- 実技試験
- 小論文試験
- 面接試験



詳細はウェブサイトをご覧ください。

尾道市立大学大学院

21世紀と共に歩む尾道市立大学は、時代の要請に対応し、高度な専門的知識・能力、
それに裏付けられた創造性・判断力、高い見識などの育成に特化した、
実践的な教育を行う大学院修士課程を設置しています。

本学修士課程では、学士課程教育で培われた専門的素養をもとに、
変わりゆく時代と地域社会の姿に応じた、より高次の学修と研究に取り組むことができます。

入学検定料・授業料

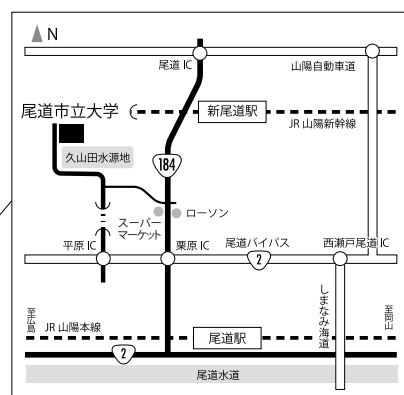
入学検定料	30,000 円
入学料 尾道市内在住者	282,000 円
上記以外	423,000 円
授業料(年額)	535,800 円

*「尾道市内在住者」とは本人又はその配偶者
若しくは1親等の親族が尾道市内に、入学月
の初日の1年以上前から引き続き住民登録
をしている者です。

*外国人留学生は2分の1の額(入学料は「上記
以外」の2分の1)です。

*本学学部生(卒業生を含む)が入学する場合
の入学手続時納付金については、上記入学料
から282,000 円を控除した額とします。

*経済情報研究科と日本文学研究科ではノート
型パソコンが必携となります。



JR山陽本線「尾道駅」南口3番のりばから「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約20～40分、「尾道市立大学」下車。

JR山陽新幹線「新尾道駅」南口3番のりばから「尾道市立大学」行きバスで約15分、「尾道市立大学」下車。

JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシー利用で約10分。
お車でお越しの場合、平原IC経由が便利です。



公式ホームページ



YouTube



X(旧Twitter)



Instagram



公立大学法人
尾道市立大学

〒722-8506 広島県尾道市久山田町 1600 番地 2
TEL 0848-22-8311

経済情報研究科 経済情報専攻（修士課程）

修了要件

本研究科に2年以上在学し、30単位以上の単位を修得し、修士論文審査および最終試験に合格すること。

学位

修士（経済情報）

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状（商業）を既に取得している方で、本研究科で所定の授業科目の単位を修得し、修了要件を満たして修士の学位を授与された方は、高等学校教諭専修免許状（商業）を取得することができます。

長期履修制度

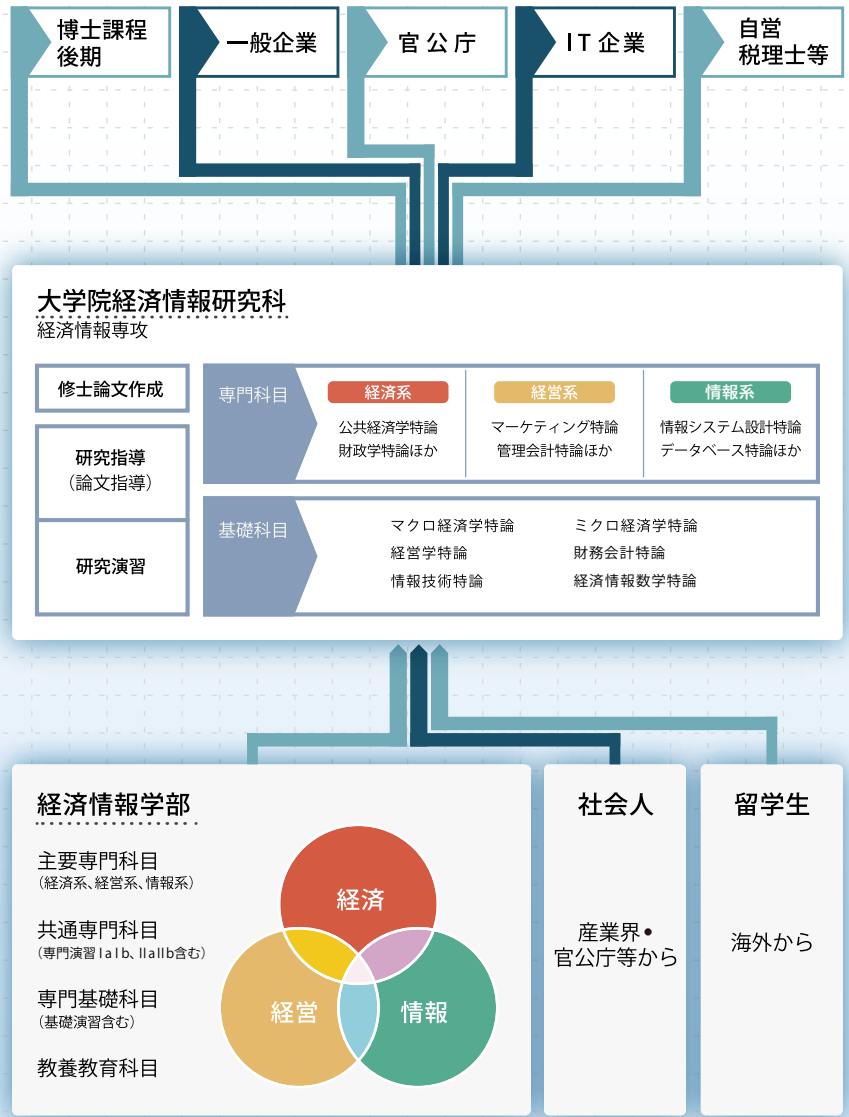
標準修業年限は2年ですが、社会人の学生のため、最長4年の長期履修制度があります。

秋入学制度

春入学試験と秋入学試験を分けて実施し、9月入学を可能にしています。

税理士試験について

税理士試験については、一定基準を満たせば「試験科目免除」制度の適用を申請することができます。



教育課程

教育課程編成にあたっては、基礎科目、専門科目、研究演習、研究指導（論文指導）という科目区分を導入し、各々について次の考え方を採っています。

- ① 基礎科目として、経済系のマクロ経済学特論、ミクロ経済学特論、経営系の経営学特論、財務会計特論、情報科学系の情報技術特論、経済情報数学特論を配置しています。基礎を重視した科目配置です。
- ② 専門科目として、経済系、経営系、そして情報科学系の主要科目を配置しています。この中には、地域問題の考察の重要性が増している現状を考慮して、地方財政特論、地域経済論特論が設けられています。また、税理士希望者は、管理会計特論、簿記論特論、税務事例特論などの科目の学修が必要不可欠です。
- ③ 研究演習を1年次の必修科目とし、経済系、経営系、情報科学系の3系列について配置しています。文献研究や事例研究を通して、演習形式でより広く、より深く学修するものです。
- ④ 研究指導（論文指導）を2年次の必修科目として、経済系、経営系、情報科学系の3系列について配置しています。ここでは大学院生が各自のテーマに沿って研究報告を行い、修士論文作成のための指導を行うものです。

基礎科目

マクロ経済学特論	ミクロ経済学特論	経営学特論
財務会計特論	情報技術特論	経済情報数学特論

専門科目

経済系	計量経済学特論 国際経済学特論 地域経済論特論 日本経済史特論	財政学特論 経済政策特論 社会保障特論 公共経済学特論	金融システム特論 地方財政特論 経済学史特論
経営系	経営組織論特論 国際経営特論 マーケティング特論	管理会計特論 租税論特論 企業法特論	簿記論特論 税務事例特論 国際法特論
情報系	データベース特論 情報システム設計特論 人工知能安全性特論	統計学特論 情報ネットワーク特論	情報管理特論 大規模情報活用特論

研究演習

研究演習Ⅰ	研究演習Ⅱ
-------	-------

研究指導（論文指導）

研究指導（論文指導）Ⅰ	研究指導（論文指導）Ⅱ
-------------	-------------

修了必要単位数

- 1.基礎科目から3科目6単位
- 2.上記1以外の基礎科目を含み専門科目から8科目16単位以上
- 3.研究演習Ⅰ・Ⅱ計4単位、研究指導（論文指導）Ⅰ・Ⅱ計4単位
- 4.合計30単位以上を修得すること。

日本文学研究科 日本文学専攻（修士課程）

修了要件

本研究科に2年以上在学し、合計30単位以上の単位を修得し、修士論文または特定の課題についての研究の成果を提出し、その審査と試験に合格すること。

学位

修士(日本文学)

取得できる資格

中学校教諭一種免許状(国語)または高等学校教諭一種免許状(国語)を既に取得している方で、日本文学研究科で所定の授業科目の単位を修得し、修了要件を満たして修士の学位を授与された方は、中学校教諭専修免許状(国語)、高等学校教諭専修免許状(国語)を取得することができます。

教育課程

教育課程編成にあたっては、総合科目、基幹科目、専門科目、関連科目の区分を設けています。

①総合科目

各分野担当者のオムニバスで基幹科目、専門科目、関連科目の枠をこえ、総合的に日本の言語文化を捉える視点を養います。

②基幹科目

基幹分野として日本語学、日本文学(古典・近現代文学)、漢文学をおきます。これに関する深い学識と高度な研究方法を修得する特講と演習が必修で配置されます。

③專門科目

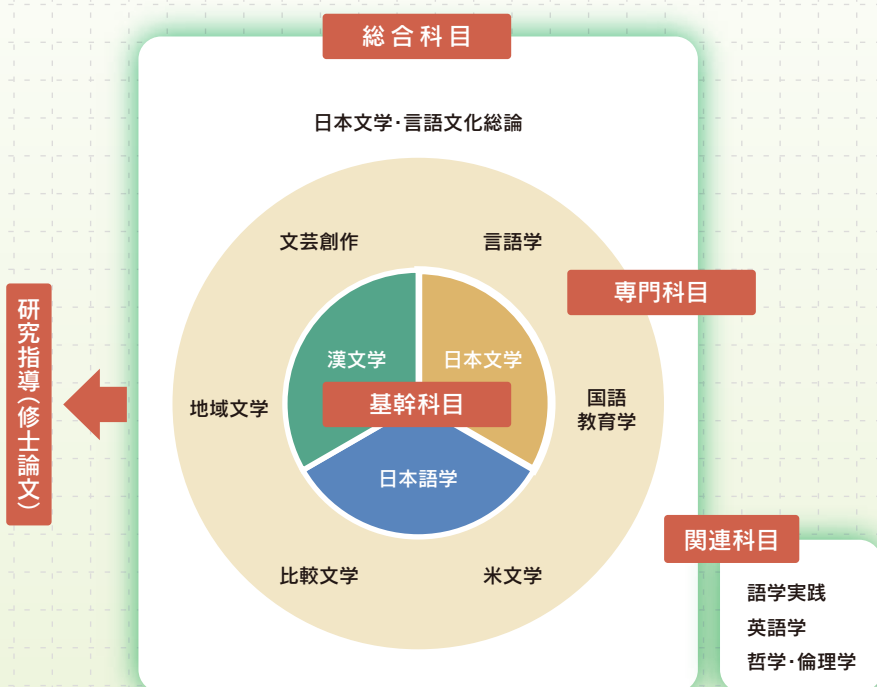
基幹科目分野の周辺領域として、言語学、国語教育学、米文学、比較文学、地域文学、文芸創作分野の特論を配置します。テキストの精読や資料調査をもとにした、論理的思考、言語文化の探究に取り組む科目です。

④関連科目

周辺領域の考え方や理論を関連付け、より広範な社会と連携した普遍的な言語文化の探究と創造に取り組む科目です。語学実践、英語学、哲学・倫理学の特論を配置します。

⑤研究指導(論文指導)

言語文化の探究と創造の成果として、各自の研究テーマにそった研究指導（論文指導）により修士論文を執筆します。



在学生の声



羽原 瑞季
(日本文学研究科1年)

私は国語教育学ゼミに所属し、高校国語科における創作学習の評価について研究しています。将来は、研究成果を生かした授業実践を行うことを目指し、研究内容を深化させるとともに、高校国語科教員として求められる専門性と文学的素養を高めたいと考え、大学院進学を決めました。現在は高校で非常勤講師として勤務し、授業づくりや生徒とのやり取りの中で得た課題意識を活かし、実践と研究を往還する形で学んでいます。

本研究科の最大の魅力は、少人数だからこそ可能な、きめ細かな直接指導にあると感じています。授業は受講生それぞれの研究領域や関心に応じて展開され、自身の研究テーマと結び付けながら理解を深めることができます。また、作成した資料や授業内での質問に対して、先生方から丁寧なフィードバックをいただける点も魅力です。学部時代に身に付けた基礎的知識と関連付けながら新たな分野の考え方を学び、それを自らの研究に応用していく過程で、授業内で先生方と対話できる時間は非常に貴重だと感じています。専門的知識を備えた教員を目指す方や、学部時代の研究をさらに深く追究したい方に最適な環境だと思います。

1年生 前期

1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金
1	高校で授業担当		学部授業のサポート	高校で授業担当	
2		漢文学特講	日本文学・言語文化総論		院生ゼミ
3	研究作業	日本語学特講	研究作業	学部生ゼミ	研究作業
4		学部授業のサポート		学部生ゼミ	
5	言語学特論	日本近代文学特講	日本古典文学特講	教材研究会	
6					

総合科目

日本文学・言語文化総論

基幹科目

日本古典文学特講	日本古典文学演習	日本近代文学特講	日本近代文学演習
日本語学特講	日本語学演習	漢文学特講	漢文学演習

專門科目

日本古典文学特論Ⅰ	日本古典文学特論Ⅱ	日本近代文学特論	日本語学特論
言語学特論	国語教育学特論	米文学特論	比較文学特論
地域文学特論	文芸創作特論		

関連科目

語学実践特論 英語学特論 哲学・倫理学特論

研究指導(論文指導)

研究指導(論文指導)Ⅰ 研究指導(論文指導)Ⅱ

修了必要单位数

総合科目 2単位 基幹科目 16単位 専門科目及び関連科目 8単位以上
研究指導(論文指導)Ⅰ 研究指導(論文指導)Ⅱ 4単位 合計30単位以上を修得すること。

美術研究科 美術専攻（修士課程）

修了要件

本研究科に2年以上在学し、合計30単位以上の単位を修得し必要な研究指導を受けたうえで、修了作品および副論文を提出し、その審査と試験に合格すること。

学位

修士(美術)

取得できる資格

中学校教諭一種免許状(美術)または高等学校教諭一種免許状(美術)を既に取得している方で、美術研究科で所定の授業科目の単位を修得し、修了要件を満たして修士の学位を授与された方は、中学校教諭専修免許状(美術)、高等学校教諭専修免許状(美術)を取得することができます。

教育課程

● 基礎理論科目

広く芸術に関する幅広い視野と識見を養うため芸術の理論・歴史等を学ぶ

美学(芸術学)特講、美術史特講など

● 専門演習科目

日本画材料技法演習、絵画総合演習、デザイン総合演習

● 専門実習科目

修了必要単位数

基礎理論科目	12単位以上	専門演習科目	2単位以上	専門実習科目	16単位以上
合計30単位以上を修得すること。					

修了生の声



小見山 勇太
(絵画研究分野 20期生)



《空の枝》
修了制作 130.3×162.0cm 紙、透明水彩

大学院に進学して、まずはじめたのは「外に出る」ことでした。共同生活で資金を貯め、国内外の展覧会やフェアを観てまわり、学部時代の同期を頼りに他大学院を訪問しました。また、他大学の学生や学芸員、アーティストとの交流プログラムにも1年間参加させていただきました。これらの経験は、自身の関心領域を整理し、方向性を定める機会になったと振り返ります。

修士課程では、制作のクオリティや的確に言葉にする能力が求められます。それらに応え、自分がやりたいことを実現することは容易ではありませんが、少人数制ならではの先生方からの手厚いサポートや、活動的な同世代からの刺激を受けて、確実に前進することができました。

修了後は、長野県北部に位置する大町市に移り住み、地域おこし協力隊として、AIRや芸術祭のコーディネートをしています。国内外で活躍される方々のサポートを行いながら、自身の制作活動もさらに深めていく所存です。

絵画研究分野

日本画

日本画では、古典作品の表現、技法および材料の理解と造形感覚を修得させ、各自の個性的な創作力の育成を図る。教育課程の編成に当たっては各人の個性的な創作力の育成を主とした課程と、創作力の育成並びに古典模写を通して技法や材料の研究を深める課程の二本立てとし、指導の多角化を図る。



上野ひろ《就果》
180×225cm 麻紙、膠、岩絵具など



棚平詩乃《雨が降る、》
227.3×181.8cm 麻紙、膠、岩絵具など

油画

油画では、各自の研究テーマに基づく制作実践を通して、高度な思考力・表現力を修得し、専門性を深める。学生・教員との対話や、外部講師による講義・演習、発表経験を通じて、自らの表現を磨き、他者に伝える力を養う。こうした学びを重ね、専門家として主体的に創作活動を展開する力を培う。



川口照栄《視点について》修了制作
Premiere Pro, CLIP STUDIO PAINT
サイズ可変



西原なずな《Dragon sword》
修了制作 キャンバス、油彩、毛糸
970×2910mm

デザイン研究分野

デザインの概念は多様な価値観の現代において、色と形で造形されるモノだけではなく、自然との共生など社会全体の構造にまで拡がりを見せている。各自の専門領域の探求とともに、広い視野と柔軟な観察力をもって多岐にわたるデザインの領域を理解できるように、6人の専門領域の指導教員から多様な価値観を学び、さらに外部講師による講義、演習を体験し、各自の研究を多角的な視点から考察し、研究する。



世羅葉花 《Dress》
修了制作/漆芸 靴 210×150×135mm



藤川愛 《あめのひのボタンと balan》
修了制作/本 310×5×220mm